

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションIa/Ib	履修学年	高校	1年	1～7組		
単位数	3(1a)+1(1b)	使用教科書 補助教材等	ELEMENT I / ELEMENT I ワークブック Standard(啓林館)						
担当者	吉澤 宮岡 Walls Marriott		myON Online Library / システム英単語 / システム英単語 For Starters(駿台) 進研W nstep Vol. 1～3, スパイラル英語 I						
学習目標	以下3点を意識し、大学入試に対応できる英語力を育成する。①音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。②日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えることができる力を養う。③英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的话题や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図る姿勢がある。				
各観点の授業内 評価方法等	Ia: 定期テスト Ia, Ib: 授業内の言語活動		Ia: 定期テスト Ib: パフォーマンステスト Ib: 授業内への出席と授業内の言語活動		Ia: myON課題とその音読活動(パフォーマンステスト) Ia, Ib: 授業内の言語活動・授業態度				
学期末の 各観点比率(%)	32.5%		30%		37.5%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	Lesson 1 Intercultural Relationships		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ELEMENT I Textbook Ia: Introduction Vocabulary Reading Language Function Ib: Listening Reading / Retelling Speaking </div>		13	1	1学期中間考査	
	5	パフォーマンステスト①							
	6	Lesson 2 Love beyond Species							
	7	Lesson 3 Contributing to Our Planet パフォーマンステスト②							
	8								
2	9	Lesson 4 Messages for World Peace		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 年間を通じて myON Online Libraryでの音読 課題に取り組む </div>		13	2	2学期中間考査	
	10	Lesson 5 Respecting Each Other パフォーマンステスト③							
	11	Lesson 6 Language and Culture							
	12	Lesson 7 Technology and Discoveries パフォーマンステスト④							
3	1	Lesson 8 Standing Up for Human Rights				13	3	学年末考査	
	2	パフォーマンステスト⑤							
	3								

教科名	外国語	科目名	論理・表現 I	履修学年	高校	1年	1～7	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	EARTHRI SE English Logic and Expression I Standard(数研出版)						
担当者	幸治・宮岡・今福		同ワークブック、サブノート(数研出版)						
学習目標	中学校において育成したコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」及び「書くこと」の三つの領域を中心とした発信能力の育成を強化する。特にスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、1つの段落を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして伝える又は伝え合うことができるようになることを目標とする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。		知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整できるようにする。				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査 パフォーマンステスト		課題提出 パフォーマンステスト				
学期末の 各観点比率(%)	60%		20%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	Lesson 1 Introduce yourself to your class【説明・紹介する】 文型1、文型2					7	中間考査	パフォーマンステスト
	5	Lesson 2 How do you spend your weekend?【時を表す(現在・過去・未来)】 過去形、現在進行形、未来を表す表現							
	6	Lesson 3 Where did you go on vacation?【時を表す(完了形)】 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形					9	期末考査	
	7	Lesson 4 How can I get there?【能力・許可・義務などを表す】 助動詞1、助動詞2							
	8	Lesson 5 Would you like to come with me?【依頼・勧誘や推量などを表す】 助動詞3、助動詞4							
2	9	Lesson 6 Something really Japanese【「～される」を表す】 受動態1、受動態2					8	中間考査	パフォーマンステスト
	10	Lesson 7 Do you do any volunteer activities?【「～すること」などを表す(to do)】 不定詞1、不定詞2							
	11	Lesson 8 Let's enjoy school life!【to do / do を使って表す】 不定詞3、不定詞4					11	期末考査	
	12	Lesson 9 Are you eco-friendly?【「～すること」を表す(doing)】 動名詞1、動名詞2							
		Lesson 10 What sports do you like?【doing/doneを使って説明する(1)】 分詞1、分詞2							
	Lesson 11 That's new to me!【doing/doneを使って説明する(2)】 分詞3、分詞4								
	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most?【人や物について説明する(who, which)】 関係代名詞1、関係代名詞2								
3	1	Lesson 13 I'm interested in history【時や場所などについて説明する】 関係副詞1、関係副詞2					10	学年末考査	パフォーマンステスト
	2	Lesson 14 Various countries around the world【比較を表す】 比較1、比較2							
	3	Lesson 15 What job are you interested in?【仮定を表す】 仮定法過去、仮定法過去完了							